

冬春取りトマト特集 最新トピックス「新規就農者の力出す“育成先進地”（静岡）」

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS 日本農業新聞 農水省によると、2020年産の冬春取りトマトの作付面積は3870ヘクタールで前年比99%、10アール収量が9940キログラムで同97%だった。



果菜委員会のメンバー

静岡県のJA伊豆の国管内は、ミニトマトの出荷量が県内6割のシェアを持つトップ産地。同JAの果菜委員会に所属する56人が生産に当たっている。

新規就農者の力引き出す “育成先進地” 静岡県・JA伊豆の国 果菜委員会

JA伊豆の国は、果菜委員会の56人の生産者が14.2畝の栽培面積で、1830トンのミニトマトを出荷する県内トップ産地。しかし30年ほど前は、高齢化や担い手不足が深刻で、新規就農者ゼロが10年も続いた。

資料請求券 ご希望の番号に○をつけてください。1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22



食味の良い「伊豆ニューミニトマト」

果菜委員会委員長の井上俊夫さん(63)も同制度で2008年に新規就農した一人。商社勤めから心機一転、50歳を機に第2の人生を農業に求めた。



果菜委員会の井上委員長

- 商品インデックス 1. 種苗全ての資料請求・案内を希望 2. 「かれん」「グランシールド」 1面/サカタのタネ

- 33. 「ハウス内循環扇 風量アップシリーズ」 9面/日農工業 34. 「ナチュール」「ナチュールブラック」 9面/アリスラボ

講習会開き技術を向上 栽培技術向上のため毎年、講習会を実施。昨年は果東部農林事務所が主催したトマトセミナーで、デルフィージャパンのコンサルタントを招き環境制御を学んだ。

安定した穂木 × 安定した台木 = 安定生産 サカタのタネ PASSION in Seed 黄化葉巻病耐病性で食味良好、節間が詰まる抑制栽培向け大玉トマト 節間が詰まるので、誘引作業など栽培管理が容易